



岸和田市立八木南小学校 校長室だより

## 「日日の善行」(ひびのぜんこう)

学校教育目標 かしこく やさしく たくましく

めざす学校像 だれもが主役になれる学校



令和4年6月30日

今週6月27日(月)から7月1日(金)までを English week と定め、普段の学校生活の中に外国語を取り入れて、外国語に慣れ親しむ取り組みを行っています。教室での授業において英語を活用すること、日常的なあいさつ、健康観察、人をほめる言葉を英語で行うなどが主な内容です。

私もこの取り組みに連動して、登下校の子どもたちとのあいさつを、朝の登校の時は「Good morning」、下校のときは「See you」と英語であいさつをしています。初日はみんな少しぎこちないところもありましたが、日を追うごとに大きい声であいさつ出来る子どもが増えてきています。しかも英語であいさつすると笑顔になって挨拶してくれる子も多いので、日ごろ日本語であいさつしている時よりも、子どもたちの反応はいい感じです。それなら今後も毎日英語であいさつしてもいいのではないかなと思ってしまいます。

これと同時にマナーやエチケットも併せて、子どもたちに伝えることができると考えています。なぜこんなことを言うのかというと、以前、吉本興業に勤めていた頃感じたことをお話しさせていただきます。前職では東京へ出張することが多く、大抵は新幹線を利用していました。

ご存じのように新幹線普通車の座席と座席の間の通路は、決して広いものではなく、人がすれ違うのがなかなか面倒です。しかも旅行用のキャリーケースなどを持っている人とすれ違うなど、至難の業であると言ってもいいほどです。



列車内で余計な移動などしないで、自分の席におとなしく座っていればいいのですが、仕事で芸人さんのマネージャーとしてタレントに同行して移動している際、吉本興業は節約をする会社(簡単に言うとケチ)なので、芸人さんはグリーン席に座り、マネージャーは普通席に座るのが基本だったので、東京駅が近づくと自分の乗る普通車から、芸人さんがいるグリーン車まで移動して合流しなければなりません。

こんなときに、反対側からキャリーバッグを引く乗客が来たら、私は混乱しないように必ず空いてる席などに入り込んで、相手に通路を譲るように心がけました。こういう場合に、すれ違う相手がアメリカなどの外国の方なら、必ず「Thank you」と感謝の言葉を交わされるか、笑顔で右手を挙げて感謝の気持ちを表現されます。

ところが日本人だと、全く無表情のまま、無言で通り過ぎる人が大半です。別に礼を尽くせなどと存大な気持ちを持っているわけではありませんが、外国人の方の普段からのマナーやエチケットには学ぶ点が多いと感じました。他の人から何か世話になったときは、しっかりと相手に感謝の態度を示すことはとても大切です。平素からそういうことをしっかりできることが、本当のコミュニケーション能力ではないのかなと思います。外国語に親しむとともに、マナー・エチケットも子どもたちに指導していきたいです。